

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入]新しい公共を支える資源循環の基盤づくり事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	東紀州コミュニティデザイン
実施期間	平成23年10月1日から平成24年3月31日
受託金額	1,362,000円
受託内容	<p>現在、東紀州での市民団体の繋がりが不十分なため、4つの事業部（コミュニティカフェ事業部、キタガワノホトリ事業部、防災・減災事業部、中間支援事業部）を創設し、各分野ごとに連携、ネットワーク化を促進する。</p> <p>■平成23年度に達成しようとする成果 4つの事業部の焦らない遂行、キタガワノホトリ事業部では、活動拠点としての充実度アップ</p>
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <p>東紀州コミュニティデザインの活動自体は、2005年9月からであり、消滅せずに残っているだけの意義や意味はあると感じている。中間支援の必要性は、NPO法人みえNPOネットワークセンターや、NPO法人みえ防災市民会議への参画など、県内外からも求められているが、肝心要の地元からの要望や周知には、まだまだ至っていないと感じている。今後は、さらなる行政との協働も不可欠である。</p> <p>民設民営であることが、継続には大きな不安材料であり、キタガワノホトリを中心とした収益事業の展開が必須課題である。また、雇用できる体制を敷いても、雇用されたい人がなかなか見つからない人材不安・不足も懸念材料である。この辺りの改善が出来れば、事業が大きく推進する機動力になるので、受託期間中に進展させたい課題である。</p> <p>ただし、4つの事業部を展開することで、得られた成果も多いと感じており、第1は、多くの人との交流による人的ネットワークの拡大が挙げられる。これを収益に結びつけることが課題であるが、最終的には地元を支えらる仕組みづくりだと感じている。第2は、キタガワノホトリという活動拠点を持っていることで、この維持には多額の賃貸料も必要であるが、これを賄えるだけの収益が見込めたこ</p>

	<p>とである。しかし、運営するスタッフの人件費までには至っていないので、受託期間中に実現したい。キタガワノホトリの利用率が向上すれば、この点は改善されてくるので、さらなる知恵を絞らないとならない。</p>	
	<p>評価ランク</p>	<p> <input type="checkbox"/> S : 特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A : 優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B : 一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C : 限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D : 成果が得られなかった </p> <p>(該当する評価に□ を付けてください。)</p>

2. 添付書類

その他参考となる書類

※ 都道府県において適宜設定すること。